

令和2年度 第1回桑名市子ども・子育て会議 会議概要（抜粋）

日時・場所	令和2年8月25日（火） 13：30～15：00 桑名市パブリックセンター 2階大研修室
出席者	委員：18名 事務局：12名
会議次第	- 開会 - 委員紹介・事務局紹介 - 議事 第2期桑名市子ども・子育て支援事業計画について - その他（報告事項） - 公立保育所の定員の変更及び入所申し込み方法について - 母子健康包括支援センターの開設について - 閉会
概要 （主な意見）	- 議事 ■第2期桑名市子ども・子育て支援事業計画について （事務局が資料で説明） 委員：第2期桑名市子ども・子育て支援事業計画の概要版はどこに配布しているのか。また、市ホームページに掲載があるのか。 事務局：関係機関等にも配布済みで、ホームページには掲載済みである。 委員：この概要版の最後に記載があるようにぜひこの計画を市民へ周知をしてほしい。 委員：今後この計画を修正等していく予定はあるのか。 事務局：計画は5年間になっているが、状況に応じて変化に対応できるように考えているので協力をお願いしたい。 委員長：桑名市子ども・子育て支援事業計画に新型コロナウイルスの影響をどう盛り込むのか、また重点施策として取り扱うのかを検討していく必要がある。 委員：計画自体の見直しは難しいと思うが、臨時で何かを見直すという必要性を検討することも重要だと思う。 - その他（報告事項） ■公立保育所の定員の変更及び入所申し込み方法について 資料3 （事務局が資料で説明） 委員：山崎乳児保育所の0歳児の定員を0人と変更するとあるが、親としては0歳から同じ施設で入所希望したいと思うが、その理由とは。 事務局：福祉ビレッジでの運営に関連し、段階的に定員を減少させる調整をとっている。0歳児は、他施設での受入れが可能であり、令和3年度に福祉ビレッジの事務を社協へ移管して、令和4年度からの運営を見据えた定員を想定している。 委員：全体の定員は変更ないが、0歳児、1歳児の定員が減少することになるが、待機児童数が減少すると想定しているのか。 事務局：計画では3号の0歳児は計画値では約200人を見込み、実際7月実績では108人で5割程度しかなく、また、3から5歳児で計画値1,600人と見込み、実際7月実績では約1,700人となり約8%増加しているが、待機児童がないように見込んでいる。今後の0から2歳児までの待機児童は想定し

ていない。

委員：定員変更はいつするのか。

事務局：年度途中で手続きし、令和３年４月から適用予定である。

委員：ラインでの保育所受付について、申請要件等では問題ないと思うが、実際に面談して子供を見て療育等であったりだとか判断していくものであって、適切な施設の提供をして、入所してから保護者が困らないようにしてほしい。４月以降に子供達が適切な施設に入所できる仕組み作りをしてもらいたい。

委員長：電子申請では、対面式の面談を省くことなのか。

事務局：オンライン面談を実施する。

■母子健康包括支援センターの開設について 資料４

（事務局が資料にそって説明）

委員：成人は保健センターで対応して、病院ではケアマネジャーがいるが、ある程度コーディネートしているが、子供に関わる同様な役割も必要だと思う。医療と福祉の連携の実情があるが、どのような資源があるのかの提供が必要であり、それらの連携等はどうか。

事務局：子ども総合相談センターでも様々な相談を受け付けている。医療のことも相談をしていただきたい。

委員長：発達等のある子供についての心配を解消できるようにお願いしたい。

委員：母子手帳を持参の保護者にどのように関わっていくのか。

事務局：妊娠期から出産までの期間になるが、ケアプランを作成し、対応していく。

委員長：どんなことができるのか利用してもらえるように周知をしてほしい。桑名市母子健康保健包括支援センターの名称についても、イメージしやすい名称にしてもいいのではないかと。

委員：行政の縦割りについて、業務が一連してスムーズに経過できるように対応してほしい。

事務局：計画にも拠点ネットワークづくりがあるので、相談の拠点としてどうあるべきかを検討する。